

I T E Rに関する国内外の取り組み状況について

平成 9 年 2 月 1 0 日
科学技術庁原子力局

1. I T E Rの建設等に関する国際協議の状況

- 1) 平成 8 年 7 月より、日、米、E U、露による建設等準備協議を開始
- 2) 第 2 回建設等準備協議が平成 8 年 1 2 月 1 7 日東京で開催され、I T E R計画に関する各極の状況、今後の進め方に関する意見交換等を実施
- 3) 建設等準備協議を平成 9 年末または 1 0 年始めまで継続することとし、この間
 - ・ 国際協定の枠組み
 - ・ 立地提案の手順
 - ・ 参加とコスト分担の考え方等に関し協議を進め、建設協議を経て、工学設計活動（現行協定下では平成 1 0 年 7 月まで）からの間隙無く建設活動の開始を目指す
- 4) 現時点における今後の協議予定は以下のとおり

建設準備協議	第 3 回	平成 9 年 4 月	欧州
	第 4 回	7 月	欧州
	第 5 回	秋	場所未定

建設協議	平成 1 0 年初め頃から
------	---------------

2. 国内外の取り組みの状況

(1) 国内の状況

1) 自治体

- 北海道（苫小牧市；苫小牧東部工業地区）
平成8年2月28日 堀北海道知事、ITER誘致表明
- 青森県（六ヶ所村；むつ小川原工業基地）
平成7年10月23日 木村青森県知事、ITER誘致表明
- 茨城県（那珂町）
平成8年3月6日 橋本茨城県知事、ITER誘致表明

2) 経済界

経団連 平成7年9月19日 経団連第567理事会にて
「国際熱核融合実験炉（ITER）日本誘致推進連絡会」設置

3) 産業界

日本原子力産業会議
平成8年9月20日 「ITER計画推進連絡会」設置

(2) 各極の取り組み

	I T E Rへの取り組み	核融合計画等
米国	○ 97年度核融合予算は、前年とほぼ同じ水準(96年度244M\$、97年度33M\$) ○ I T E R設計評価を実施中 ○ エネルギー開発に関する全体的関心は薄い	○ エネルギー省により新核融合戦略策定(平成8年8月) ・ プラズマ科学の推進 ・ 核融合サイエンスの追及が国内計画の中心 ・ 核融合エネルギーは国際協力で実施
欧州	○ 97年度欧州核融合予算は全体で約500MECU ○ 核融合エネルギーは将来のエネルギー源として必要な選択技であり、I T E R実現はEUとして重要との認識 ○ 核融合研究評価委員会(バラバスキ委員会)でI T E Rの域内建設を提言 ○ 独・仏研究大臣の共同宣言、伊研究大臣の発言あり	○ 欧州委員会により5年毎に策定 ○ 現在、時期計画(1999年～2003年)策定のための作業中
露	○ I T E R計画は連邦政府レベルで取り組む優先度の高い計画 ○ 建設に関して早期に具体的目途を立てることが重要と認識 ○ I T E R建設協議への参加の意思を表明	○ 1997年～98年までのI T E R計画実施のための財政支出を連邦政府決定